

顔と顔 人と人 心と心がつながる

# 岐阜県ファンクラブ

会報 第3号

春

## 平成21年度「岐阜の宝もの」と「明日の宝もの」が決定!

岐阜県では、県民の皆さんの幅広い意見を踏まえ、ふるさとの誇りとなる地域資源を掘りおこし、磨きをかけ、地域の魅力を高める「飛騨・美濃じまん運動～岐阜の宝もの認定プロジェクト～」を進めています。

2月1日に開催された「岐阜の宝もの」認定委員会において、今後の岐阜県観光の振興につながる平成21年度の「岐阜の宝もの」と、今後の取り組みにより「岐阜の宝もの」になり得る「明日の宝もの」が決定しました。

今回の「岐阜の宝もの」「明日の宝もの」は、多くの皆様からいただいた「飛騨・美濃じまん」のを基に、平成20年3月と8月に選ばれた「じまんの原石」「明日の宝もの」と、平成21年8月に選ばれた「じまんの原石」の中から選ばれたものです。

飛騨・美濃じまん運動 <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11334/jiman/>

### 岐阜の宝もの

#### ①乗鞍山麓五色ヶ原の森（高山市）

「日本最後の中間山地地帯の貴重な自然景観」と賞される広大な森林地帯には、乗鞍岳を源とする多くの溪流と滝、池、湿原、さらには多種多様な動植物が生息しており、食や事前講習などの各種プログラムを充実させることで、「自然にやさしい」「からだにやさしい」「こころにやさしい」岐阜県らしい新しい旅「ぎふウェルネス・ツーリズム」を提供することができ、施設整備やガイドツアーを継続的に実施していく体制が確立されている。

季節により表情を変える2つのコースは何度も訪れる楽しさに満ちたコース設定であり、宿泊を伴う体験型プログラム、環境学習プログラムを数多く提供できる可能性がある。



#### ②東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋（中津川市、恵那市、瑞浪市）

「かぶく（傾く）」、歌舞伎の語源とも言われるこの言葉どおり、約300年にも及ぶ東濃地方の地歌舞伎の歴史は、“ただものではない”地域の人々の情熱と努力により現代に受け継がれており、観客を魅了する舞台や芝居小屋は、建築、民俗、芸能など多方面な視点から観光客を引きつける魅力を持っている。

県内では全国最多の27の歌舞伎保存会が活動しており、うち半数以上が東濃地方に集中。歌舞伎公演だけでなく地歌舞伎を構成する要素（役者、台詞、所作、衣装、大道具、小道具、義太夫、芝居小屋、観劇マナー等）を体験型プログラムとして提供することができ、観光客に「もっと知りたい、もっと感動したい」と思わせる新しい観光資源となる可能性がある。



### 明日の宝もの

#### ①美濃白川四季彩街道（白川町）

単なる移動手段としての道ではなく、道からの景色、町の文化、歴史や自然を活かした地域づくりにつなげようと、「美濃白川の景観を守る会」を中心に年間20回以上の清掃・除草活動や、これまでバラバラのコンセプトで実施してきたイベントを「四季彩街道 春の味覚・秋の味覚フェスタ」に統一するなどの取り組みを展開している。

白川町を起点に、コンセプトである「スロードライブ・スローライフ・スローフード」をキーワードに、下呂温泉や高山、中山道太田宿や八百津のおやつなどとの地域連携により線から面への観光エリアを作り上げることができる。



#### ②天生県立自然公園と三湿原回廊（飛騨市）

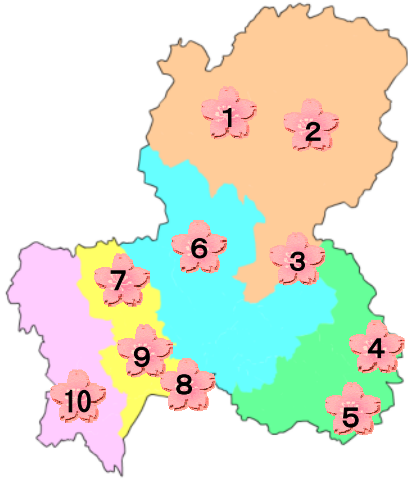
「小坂の滝めぐり」「乗鞍山麓五色ヶ原の森」といった「岐阜の宝もの」に勝るとも劣らない圧倒的な自然を体験できる資源であり、ガイドやインタープリターの技術も秀でている。隣接する白川郷や、包含する三湿原回廊の一つ天生湿原と他の二つの湿原との回遊性やガイド体制の一体化、さらには食、体験プログラムなどの要素が加われば、日本を代表するウェルネス・ツーリズムのメッカとしてさらに磨きをかけ、「岐阜の宝もの」を視野に入れた取組が期待できる。



ぎふの桜

寒い冬空の下で少しずつ少しずつつぼみを膨らませ、春の訪れとともに一気に咲き誇る桜。桜の下を散歩したり、お弁当を広げたり、みんなウキウキ桜が大好きです。

岐阜県も間もなく桜の季節を迎えます。岐阜の桜の名木や桜の名所をご紹介します。標高差が大きい岐阜県では、3月下旬から5月上旬まで、長い期間、桜を楽しむことができます。



1 荘川桜 見ごろ 4月下旬～5月上旬

御母衣湖畔の展望台にたっている2本の巨桜は、樹齢500余年といわれるアズマヒガンザクラ。湖底に沈んだ照蓮寺と光輪寺の境内の桜を移植したものです。

問 高山市観光課 0577-35-3145



2 臥龍桜 見ごろ 4月中旬～下旬

幹枝の形が龍の臥した姿に似ていることから名付けられた国指定天然記念物。幾度の枯死状態からも人々の桜を想う心により、たくましく復活した樹齢1100年の大樹です。

問 高山市観光課 0577-35-3145



3 苗代桜 見ごろ 4月上旬～中旬

樹齢約400年、高さ30mと25mの巨木で、別名曆桜。里人がこの樹の開花をまっとなわしろ(稲の苗をつくるための田んぼ)の準備を始めたところからきています。水をはった田んぼに写るその姿はとてもきれいです。

問 下呂市観光課 0576-24-2222



4 苗木さくら公園

見ごろ 4月上旬～中旬  
苗木城跡北方の高台にあるこの公園には約1000本の桜が植栽されており、市街地よりも少し遅めの春の開花期には全山がピンク色に染まります。

問 中津川市観光課 0573-66-1111



5 新田の桜

見ごろ 4月中旬～下旬  
推定樹齢450年～500年といわれる「コヒガンザクラ」の古木。伊勢湾台風で枝を折られるなど、様々な風雪に耐え、毎年鮮やかなピンクの花を咲かせます。

問 恵那市商工観光課  
0573-26-2111



6 明建神社

見ごろ 4月上旬～中旬  
東氏の居城であった篠脇城の馬場跡といわれる桜並木は、明建神社の横参道として残されており春には100本ほどの古木桜のトンネルになります。

問 郡上市観光課 0575-67-1121



7 淡墨桜

見ごろ 4月上旬～中旬  
樹齢1500余年、樹高16.3m、幹囲9.9mの名桜。日本三大桜の一つであり、国の天然記念物に指定されています。満開時にはつややかな白、散り際には淡い墨色になることから名付けられました。

問 本巣市商工観光課 058-323-7756



8 新境川・百十郎桜

見ごろ 3月下旬～4月上旬  
新境川堤の両岸1000本を超える桜が立ち並びます。地元出身の歌舞伎役者・市川百十郎が境川放水路の完成を記念して寄贈されたことからこの名が付けました。

問 各務原市観光文化課 058-383-9925



9 中将姫誓願ザクラ

見ごろ 3月下旬～4月上旬  
国の天然記念物に指定されている樹齢1200年の名木です。中将姫が病臥し、平癒を祈願して植えたという伝説があります。

問 岐阜市観光コンベンション課 058-265-4141



10 奥の細道むすびの地

見ごろ 3月下旬～4月上旬  
松尾芭蕉の句で名高いこの地では春になると約100本の桜が咲き乱れ、川面に錦鯉が群遊し見事です。桜満開の水門川を下る「舟下り」も行われます。

問 大垣市商工観光課 0584-81-4111



このほかの岐阜県の桜については、(社)岐阜県観光連盟の「飛騨・美濃さくら33選」のホームページをご覧ください。

(社)岐阜県観光連盟 0120-310561 <http://kankou-gifu.jp/>

見ごろの時期は目安です。お出かけ前に各問合わせ先にご確認ください。



## ふるさと暮らし応援インタビュー

今回は、移住される方のサポートをされている「美濃のすまいづくり」理事長の梅村さんにお話を伺いました。

江戸時代から城下町として栄えてきた美濃市。“うだつのあがる町並み”は国の伝統的建造物群保存地区(伝建地区)に指定され、今もその美しい町並みを中心として、歴史と文化の薫る“美濃市らしい”景観が今も息づいています。

その美濃市において人口減少などにより空き家が生じ、まちの輝きが損なわれ、地域の活力を減じている現状に対して、空き家等に新しい住まい手呼び込むことで地域のコミュニティを回復させ、美濃市らしい町並みを保全し、地域の経済的活力を呼び起こそうと、自治会代表や市内商工業者等の地域経済を担う方たちが集まり「NPO法人 美濃のすまいづくり」を立ち上げました。

空き家に住みたいという移住希望者と空き家所有者の橋渡しを担う“美濃のすまいづくり”。今回は理事長の梅村一夫さんにお話を伺いました。

### 「活動を始めたきっかけは何ですか？」

私自身、美濃の町中で生まれ育ち、今も暮らしていますが、人口減少や高齢化で、町中にも空き家や空き店舗が目立つようになってきて、いかにも勿体ない、なんとか一人でも多くの人にここに住んでもらって、美濃市らしい町並みを守りたいという思いがありました。

平成19年度に、市役所が市の中心部の伝建地区の定住人口増加対策として、空き家を賃貸する際の改修費の助成制度を整備しましたが、制度とあわせて、住みたい側と受入れる側の“橋渡し役”が必要ということで自治会連合会に協力の要請をいただき、市内の自治会長の協力を得て、定住促進をサポートするNPOを設立したことが始まりです。



### 「現在の活動内容を教えてください」

美濃市に住みたい、空き家を借りたいという方に、空き家の紹介や美濃市での暮らしに関する相談を行っています。実際にご希望があれば、市内のいろいろな地域をまわったり、これまでに移住されてきた方の紹介などもしています。また、じっくりと美濃市での暮らしを知っていただこうと、町屋を改築して“美濃町暮らし体験住宅”を整備して、具体的に移住を考えている方や美濃市がどんなところか知りたいという方に活用いただきました。今回は2月までの試験的なものでしたが、今後も機会があればこのようなサービスも提供しなければと思っています。また、市内の空き家の所有者の方には、空き家の活用方法の相談や企画などを行っています。空き家を貸したいと思っても、実際に空き家を貸

すとなると契約などいろいろと分からないことや不安なことも多いと思いますが、お気軽に相談いただければと思います。

その他、地域の空き家情報を収集したり、ホームページなどによる情報発信や、NPOの活動を地域に理解いただくための啓発活動などを行っています。

この活動を通して、現在は6世帯の家族が移り住まれました。また、このNPOの活動が浸透して、地域との信頼関係も出来てきたという手ごたえもあります。この輪をさらに広げて行くことで地域の活力に繋げていきたいですね。



### 「今後の活動予定を教えてください。」

美濃市に住みたい、空き家を借りたいという相談は多いのですが、まだ、紹介できる空き家の登録が少ないことが課題です。

以前に実施した空き家調査の結果では、市内に220件程の空き家があることがわかりましたが、実際には老朽化していたり、空き家であっても仏壇や家財道具などが置いてあったり、また、家というのは先祖代々守られてきたものですから、人に貸すということに関して所有者にとってもいろいろと不安な面も多いというのが実状だと思います。

NPOでも、所有者の方に空き家の活用方法の相談など行っていますが、家は人が住んでいなければ家自体も悪くなっていきますし、空き家を少なくしていくことが地域にとっても良いことだと所有者の方にも理解をいただきながら、紹介可能な空き家物件の情報を増やしていきたいですね。

### 「移住希望者の方へメッセージをお願いします。」

すぐに住むということではなく、まず、美濃の成り立ちや人となりのある程度見ていただいて、いろんな人とお話をさせていただきながら、なるほどこの町はこういう風なのだと理解して来ていただきたいですね。ご自分で十分納得した上で移住することが一番大切なことだと思います。私たちも少しでもお役にたてればと思いますので、お気軽にご相談ください。

美濃のすまいづくり 活動日:木/金/土/日 13:00~16:00

電話 FAX: 0575-33-0760 メール [npomino@ray.ocn.ne.jp](mailto:npomino@ray.ocn.ne.jp)

美濃市のイベント 毎年4月の第2土曜、

日曜の2日間にわたって開催される八幡神社の祭礼「美濃まつり」。土曜には美濃和紙を花色に染めた花みこしが、日曜には山車が町中を練り歩きます。



《美濃市観光協会：電話 0575-35-3660》

大募集

# 私の好きな岐阜県

皆さんが大好きな岐阜県の場所、風景、食べ物、工芸品などを紹介してください！

散歩の途中で見つけた美しい風景や、旅先で出会った味、心に残る懐かしい思い出など、あなたの好きな“岐阜県”を紹介してみませんか？

## 募集内容

岐阜県内のお気に入りの場所や大好きな風景、食べ物、工芸品などを紹介してください。あなただけが知っている名所や、隠れた逸品などどんな内容でも結構です。  
応募いただいた内容は、岐阜県ファンクラブのホームページで随時紹介させていただきます。

同封の応募用紙で！

## 応募方法

同封の応募用紙を事務局宛てにお送りください。  
応募用紙は、岐阜県ファンクラブのホームページからダウンロードすることもできます。  
風景等の写真でのご応募の場合は、画像データをメール等でお送りください。その場合、応募用紙に記載した写真のファイル名と同じにしてください

## 応募・お問い合わせ先

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1  
岐阜県庁地域振興課  
岐阜県ファンクラブ事務局

電話:058-272-8078(直通)  
FAX:058-278-2568  
eメール: [c11161@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11161@pref.gifu.lg.jp)

## 応募作品へのコメントや応援メッセージも募集します！！

皆さんに応募いただいた作品は、ホームページ等で紹介します。  
その応募作品に対して「私も好き」「実際にその場所に行ってきた」という感想やコメント、応援メッセージをメール等でお寄せください。お寄せいただいた内容はホームページに掲載します。  
皆様の活発な情報交流をお願いします。

## F C 岐阜を応援ください！！

Jリーグ2部のFC岐阜 いよいよ2010年のシーズンを迎えました。  
今年は倉田新監督を迎え、全選手一丸となって皆さんに感動を与えるプレーでJ1昇格を目指します。ぜひ競技場で応援をお願いします。  
アウェイでの応援も大歓迎！日本中でFC岐阜を応援しよう！



<http://www.fc-gifu.com/>

### <事務局から>

この冬、県内は予想外の大雪に見舞われましたが、ようやく待ちに待った春の到来です。  
岐阜県内各地で春のイベントが予定されています。3月下旬から5月上旬間まで、長い期間「桜」を楽しむこともできます。  
ぜひ、春の岐阜を体験して、募集開始した「私の好きな岐阜県」に感想などお寄せください。  
会員の皆様の活発な情報交流ができればいいなと考えています。

【編集・発行】 岐阜県ファンクラブ事務局  
〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1 岐阜県地域振興課内  
TEL:058-272-8078 FAX:058-278-2568  
E-mail: [c11161@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11161@pref.gifu.lg.jp)  
会報誌は岐阜県ファンクラブのHPでもご覧いただけます。

[岐阜県ファンクラブ](#) [検索](#)

ふるさと納税にご協力を！

“岐阜県を応援したい”という思いを寄付という形で実現しませんか・・・  
詳しくは、ふるさとぎふ応援サイト(ホームページ)をご覧ください。

[ふるさとぎふ応援サイト](#) [検索](#)